

東京言語研究所

2011年度第2回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを主な目的として、公開講座を開催することにいたしました。ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2011年度第2回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

<演題>

「『悪霊』の衝撃 ドストエフスキーにおける悪の観念と〈ことば〉」

<講師> 亀山 郁夫 氏(東京外国語大学 学長・ロシア文学)

<日時> 2011年12月3日(土) 15:00~18:00

<会場> 東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

<参加費> 一般 1,500 円 学生 1,000 円(当日学生証提示)

(*2011年度理論言語学講座受講生は500円)

<申込み> メールまたはFAXにて下記をご連絡下さい。(定数:先着60名)

①公開講座受講希望 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥区分(2011年度理論言語学講座受講生・一般・学生)

(この情報は受講手続きにのみ使用いたします。)

<講師紹介>

栃木県出身。東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業、同大学大学院外国語学研究科修士課程修了、東京大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。天理大学助教授、同志社大学助教授、東京外国語大外国語学部助教授をへて、1993年同大学教授、2007年より学長。著書に『ドストエフスキー共苦する力』(東外大出版会、2009年)、『「罪と罰」ノート』(平凡社新書2009年)、『ドストエフスキーとの59の旅』自伝エッセイ(日本経済新聞出版社2010年)等多数。訳書にはドストエフスキー『悪霊』(全3巻、光文社古典新訳文庫、2010年9月より刊行)等多数。

○問合せ先

東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427

E-mail:info@tokyo-gengo.gr.jp

ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

ドストエフスキー最大の問題作といわれる『悪霊』は、同時にまたもっとも謎に満ちた作品とされ、内外の研究者からさまざまな読解が試みられてきた。本講演では、この小説がはらむスキャンダラスな《衝撃》性と作者自身の政治思想、さらには小説作法上の特性や彼の言語観との関係に注目しながら、ドストエフスキー文学の根源にひそむ「悪」と「罪」の問題について自由に語りたいと思う。